



★羅針盤 No.62

4月25日ネパールでM7.9の大地震が起り、犠牲者の数は毎日増えている報道が続いています。ネパールのビルや民家は細い柱とブロックやレンガを積み上げただけのものが多く、耐震構造の建築物は少ないことが被害を大きくしているようです。首都カトマンズ付近が震源地ですが、その揺れはヒマラヤの山々をも揺らし、登山者が多数雪崩被害に遭っていること。ネパールのカトマンズ空港が小さいため各国の救援隊が入国できないと言う事態になっているとのニュースが流れました。通行手段の途絶えた奥地の様子はと思うと、もどかしさで胸が痛みます。地震国日本では他人事とは思えません。出来る限りの救援に協力しましょう。

国内では、5月1日より1年ぶりに電力10社の電気料金が一律値上げとなりました。値上げ幅は、電気の使用量が平均的な家庭の場合で、東京電力が18円、関西電力が69円等々、太陽光など再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度に基づく買い取り費用の増加と相殺される形となったとの報道。何ともやりきれない事柄です。節電対策をする余り熱射病にならないように注意しなければなりません。

東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物の処理を「いつでも」お受けいたします。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。



鯉のぼり

営業部 Y の考察

東港金属株式会社
 東京都大田区京浜島2-20-4
 電話 03-3790-1751
 URL <http://www.tokometal.co.jp>
 (見学受付)
 電話03-3790-1751 又は 各営業担当

★羅針盤

鉄・非鉄スクラップ・市況からの5月予測

- 鉄スクラップ** → 考察) 4月の鉄スクラップは、東京製鉄宇都宮工場特級価格が24,500円/トンから、1,000円/トン上げました。輸出価格の好調及び品不足から、5月は多少ですがあがると思われます。
- 銅** → 考察) 銅に関しては、4月はLME6,000ドル/トン、国内銅建値 770,000円/トンでスタート。下旬までLME及び為替に大きな動きはありませんでしたが、国内銅建値が確定後、終盤にLME価格が上昇。6,300ドルを突破。5月初はあがると思われます。
- アルミ** → 考察) 4月はLME1,785ドル/トンでスタート。最終的には1,900ドル台まで上昇。自動車生産数・住宅着工戸数の減少や国内の新塊需要が減退し、需給緩和により新塊が安く買える為、5月のアルミ価格は下がると思われます。
- プラスチック** → 考察) プラスチックに関しては、4月同様に横ばいでしょう。

4月予測の自己評価

鉄スクラップ × アルミ ×
 銅 × プラスチック ○



私のゴルフ人生

(第5話)

高校卒業後、プロゴルファーを目指すため修練の拠点となったゴルフ場が栃木県佐野市にあるS・GCでした。27ホールを所有し距離は短いですがフェアウェイは狭くアップダウンの激しいトリッキーな丘陵コースです。

S・GCは全国から志を持った青年を毎年積極的に採用し、当時第4期生として私を含め新たに4名が入社し、総勢20名の大所帯になったのです。通常ゴルフ場に所属している研修生は2~3名が平均ですがS・GCは10倍の人数を擁している非常に稀なゴルフ場でした。

当時は何の疑問も持たずこれが普通であると思っておりましたが、時が経ち冷静に考えると、研修生は若くて体力があり余り、無理が利き、おまけに安い賃金で使え、練習時間と食事さえ与えておけば融通の利く打ってつけの存在に他ならなかったのだと気付きました。

研修生の日とはいかなるものなのか？簡単にご紹介します。

5:00	起床
5:30	コース管理に入る(作業準備)
6:00	コース管理業務 (グリーン芝刈、カップ切り、シート剥がし、バンカー均しの何れかの作業)
7:30	朝食
8:00	ポーター作業 (玄関でお客様のバッグ下し、夏場は1時間前倒しで作業)
9:00	キャディー業務
15:00	終了(繁忙期は1.5Rのキャディー業務)
15:30	練習開始(最終客スタート後にハーフラウンド)
19:00	最寄りの練習場に移動し練習
22:00	練習終了(レジ業務、清掃、珠拾いをする代わりに練習代は無料)
23:00	帰宅

以上のような一日の流れが基本になりますが、実は同じ研修生でも業務に大きな差が出るシステムになっておりました。

そのシステムとは、毎月行われる社内月例会に於いてランク付が決定し、上位4名がAクラス、次の4名がBクラス、残りの12名はCクラスとなります。クラス別の業務は以下の通りでした。

Aクラス: 午前中のみ作業(早朝のコース管理作業+バッグ積込+マスター室スタート業務など)

午前中の最終組がスタート後(10時過ぎ)ラウンド練習

Bクラス: 午前中の作業及びハーフのみキャディー業務。午後はフリー

Cクラス: 冒頭説明の基本業務をキャディーマスターからの指示通りに遂行する。繁忙期はラウンド、練習が一切出来ない日が多々ある状態

当然新入りの私は1年目から毎月Cクラスの定位置におりました。

まさに月例の成績如何で天国と地獄の1ヶ月になるのです！

自分が一日中キャディー業務をしているときに隣のホールで同じ研修生がラウンド練習をしている、目の前にコースがあるのに全く練習ができない！

俺はキャディーのプロになるために来たのではない！

あの屈辱は今でも忘れません。

その悪循環を断ち切る方法は一つしかありませんでした。以下次号で長谷川 武史 (営業部 主任)

★羅針盤

フロン排出抑制法 (改正フロン回収・破壊法)

4月1日に施行された「フロン排出抑制法」について、前号に続き今号は当社のような充填回収業者の取組概要を紹介します。

◆充填回収業者への登録

法改正により、充填業も含め都道府県の登録が必要となり従来の「第一種フロン類回収業者」も「第一種フロン類充填回収業者」と名称が変更になりました。これにより、充填についても回収と同様に充填回収業者が行うこととなります。

H27年 3月まで	第一種フロン類回収業者(登録業者)		
	充填を行わない回収業者	充填も行っている回収業者	充填のみ行っている者
4月 改正後	第一種特定製品に充填を行っている者		都道府県への登録
	第一種フロン類充填回収業者(登録業者)		

◆充填回収業者に係わる取組

1) 定期点検と点検・整備記録

* 充填回収業者は、機器の点検・整備時に、管理者から定期点検を委託される可能性がある。定期点検は機器・充填に係わる十分な知見を有する者が実施し、点検整備の内容を記録簿に記録、保存する

2) 充填・回収証明書及び漏えい量報告

* 機器の整備時にフロンの充填・回収を行った場合は、充填量及び回収量を記録し、充填又は回収した日から30日以内に管理者に対し「充填証明書」「回収証明書」を書面で交付する。

* 機器の管理者は、これらの証明書に基づき、機器から漏れ出したフロンの量を計算し、国に報告(漏えい量報告)する

3) 引き渡し義務と再生・破壊証明書

* 施行前は引取証明書の交付でフロン回収の工程管理を修了していますが、4月からは、再生業者、破壊業者に引渡したフロンに関して、機器にフロンを再生、破碎した日から30日以内に「再生証明書」「破壊証明書」の交付を受け、その証明書を管理及び廃棄等実施者に回付する。

次号は、法律施行で一部改訂された「行程管理票」について紹介します。

参考資料出所: 経済産業省 オゾン層保護等推進室 環境省 フロン等対策推進室 他